

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.140 2012.3.30

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内  
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel: 058-267-5233 Fax: 058-267-5238  
E-mail: nkjg@gijodai.ac.jp URL: <http://jsei.jp/>

## 日本教育情報学会 第28回年会

8月25日(土) ~ 26日(日) 於: 聖徳大学

年会テーマ: 教育情報デジタル化の課題と展望

第28回年会は夏に聖徳大学を会場にして開催します。大会の概要と研究発表の応募要項をお知らせいたします。ご熟読の上、期限内に手続きを行なってくださるよう、お願いいたします。

皆様のご参加とご発表を心よりお待ちしております。

第28回年会実行委員長 木下昭一

**期 日:** 2012年8月25日(土)・26日(日)

**会 場:** 聖徳大学

<所在地> 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

<アクセス> JR松戸駅(常磐線)より徒歩5分

<URL> <http://www.seitoku.jp/univ/access.shtml>

**事務局:** 日本教育情報学会 第28回年会実行委員会

聖徳大学児童学部 木下研究室内

<TEL> 047-365-1111 (大学代表)

<FAX> 047-363-1401 (大学代表)

<E-mail> [kinosita@seitoku.ac.jp](mailto:kinosita@seitoku.ac.jp)

年会ホームページ: <http://jsei.jp/nenkai28/>

**後 援:** (申請中) 千葉県教育委員会, 東京都教育委員会, 松戸市教育委員会,  
柏市教育委員会, 市川市教育委員会, 取手市教育委員会

## 日 程（時間は予定）

1 日目 8 月 25 日(土)		2 日目 8 月 26 日(日)	
9:30～	受付開始	9:30～	受付開始
10:00～12:00	課題研究発表 一般研究発表	10:00～12:00	課題研究発表 一般研究発表
12:00～13:00	昼食・休憩 理事会・評議員会	12:00～13:00	昼食・休憩
13:15～13:45	総会・学会賞表彰式	13:00～15:00	課題研究発表 一般研究発表
14:00～15:00	基調講演	15:15～17:15	課題研究発表 一般研究発表
15:15～17:15	シンポジウム		
17:30～	交流会		

### (1) 基調講演「デジタルデバイスは紙に勝てるか」 赤堀侃司

(白鷗大学教育学部長・教授, (財)コンピュータ教育開発センター理事長, 東京工業大学名誉教授)

#### 概要

今日多くのデジタルデバイスが教育に用いられてきた。PC はその代表であるが、学習の特性、特に認知に関わる研究は、意外に少ない。本講演では、紙、PC、スレートデバイスなどのデバイスの認知に関わる筆者等の研究を紹介し、その特徴を述べる。また、今後の展望と課題についても触れる。

### (2) シンポジウム

#### 「デジタルデバイスの変革は、教育にどのような未来をもたらすか」

コーディネータ：坂井岳志(学習過程研究会会長・世田谷区立八幡小学校)

パネリスト：横井弘(CBI 研究会会長・杉並区立神明中学校), 堀田龍也(玉川大学), 大久保昇(株式会社 内田洋行)

#### 趣旨

世界の教育現場に、ネットワークを生かした電子教科書、電子黒板、タブレット等が次々に導入され、世界や日本の教育事情に詳しいパネリストの方々のご意見から、『デジタルデバイスの変革は、教育にどのような未来をもたらすのか』、また『教育に変革をもたらす鍵は何か』ということテーマにご意見をうかがい、参加者の皆さんと共に今後の活動への指針を見出すことができると考えます。

### (3) 課題研究

#### ① 〇中等教育のデジタル化の課題と実践

コーディネータ：石出勉(文京区立第六中学校), 田崎丈晴(千代田区立九段中等教育学校)

中学校・高等学校では、情報化の進展に伴ってさまざまな教育手法が生み出され、デジタル化された教材、ネットワークに乗せての配信、グループウェア、SNS 利用等の多面的な教育活動が繰り返

広げられている。これらの個性的な実践を互いに紹介し、検証し合う場としたい。また、組織的に取り組まれている我が国の中等教育での情報教育を、世界的な情報教育の進展を参考にしながら、実践を基に、あるべき姿を探っていきたいと考えている。

## ②高等教育の改善と実践及び評価

コーディネータ：沖裕貴(立命館大学)、本郷健(大妻女子大学)、本村猛能(群馬大学)

大学教育の在り方が諮問され、高等教育をめぐる様々な改革が提示され、それにもとづく実践が行われてきている。これらの改善をどのような方法で評価し改善へ結び付けていくかなど、高等教育をめぐる課題は尽きない。本課題研究では、大学における教育内容・方法の改善と評価、FDの組織化とFDの効果検証、FDプログラムの開発と効果検証、カリキュラム・デザインとカリキュラム評価、大学教員の職能開発と評価、教員評価などに関して研究、大学におけるキャリア教育の実践と評価などの実践報告を集約するとともに、今日の大学に求められる改革・改善の方向性とその状況について情報交換したい。

## ③特別支援教育の課題

コーディネータ：岩井雄一(十文字学園女子大学)、東原文子(聖徳大学)  
太田容次(滋賀大学教育学部附属特別支援学校)

特別支援教育は、特別支援学校や学級、通級だけでなく通常の学級も含めて、障害のある幼児児童生徒の一人一人のニーズを踏まえた適切な指導と必要な支援を行うこととして進められてきた。この間、教科書バリアフリー関連三法案の制定、また、特別な教育的ニーズのある子どもへの情報教育の充実、コンピュータ等の教材・教具の活用等、特別支援教育におけるICT化が進められている。こうした動向をふまえ、特別支援教育における教育情報デジタル化について情報交換したい。

## ④保育と幼・小教育のデジタル化の課題と実践

コーディネータ：工藤哲士(東京都教職員研修センター)、相良順子(聖徳大学)

新学習指導要領では、情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実し、各教科等で実施していくことが示されている。そして、電子黒板等を含めたICT機器や高速ネットワークが学校現場に急速に普及してきている。それらを効果的に活用するためには、デジタル化された充実した教材等が必要である。同時に、教材及び電子黒板やICT機器の効果的な活用方法や指導法等、教員自身のスキルを高めることも重要である。また、教育の情報化に関する手引では、校務の情報化の重要性が示されており、校務分掌や成績処理等の各種資料のデジタル化等も大きな課題がある。これらの課題を解決していくためには、全国の教員・研究者の実践を共有し、広めていくことが重要である。保育と幼・小教育のデジタル化にかかる実践について、知恵と工夫を共有し、ともに研鑽するための活発な議論の場としたい。

## ⑤教育資料と図書館情報(含著作権)

コーディネータ：松本直樹(大妻女子大学)、野末俊比古(青山学院大学)

教育においては、教育目標に応じ多様な資料を用いることで、児童生徒の学習意欲を高め、理解を促進することができる。本セッションでは多様な教育資料の制作から活用について広く検討する。あわせて、そうした教育資料を収集・組織化し、提供する図書館(学校図書館、公共図書館、大学図書館等)のあり方、そして課題についても検討する。また、教育資料については、制作する場合、しばしば著作権・肖像権等の問題が発生する。教育資料と著作権の問題についても議論する。

## ⑥大震災と情報対応

コーディネータ：坂井知志(常磐大学)，佐藤正明(岐阜女子大学)

本セッションは、東日本大震災による地震・津波、原発事故を通して、これら災害・支援・復興に関するデジタル・アーカイブのあり方や災害時における情報共有などについて協議したい。また、現在作成中の「大規模災害時における教育情報の記録・保管・公開に関するガイドライン(Ver.1)」についても、成案とするための協議を行いたい。本学会では、これを重要な内容として本セッションを昨年度に続き、設けた。

## ⑦教育システム開発と e-ラーニング

コーディネータ：安達一寿(十文字学園女子大学)，大西壮一(岡山理科大学)

スマートフォンやスレート端末の普及により、利用環境のオンデマンド化が進んでいる。教育現場でも教師一人一台の PC 利用環境の到来により、校務情報システムの普及や教材作成環境の新しい流れができつつある。一方で、アクティブ・ラーニングや協調学習などの教育方法について、e-ラーニングや SNS などの活用を通して支援する新しい視点や、学習者への教育効果の検証方法など、新たな教育課題への対応も求められている。この課題研究では、これらの ICT 活用についての教育システム設計・開発やそのアイデアを議論し、今後の教育支援環境のビジョンを検討できる場とし、将来への展望を切り開く機会としたい。

## ⑧デジタル・アーカイブ

コーディネータ：井上透(国立諫早青少年自然の家)，久世均(岐阜女子大学)

情報社会の進展に伴い、デジタル・アーカイブの対象は、文化財を中心とした時代から、学校や地域に関わる資料、行政や企業等の資料へと多様化の道を歩んできている。また、デジタル・アーカイブ化の手法も、テキスト・静止画・動画による資料の記録を中心とした時代から、CG・GPS・立体スキャナ・多方向同時撮影といった多様な手法が用いられるようになってきた。その中で、著作権やプライバシーに関する課題も顕在化し、かつ多様化してきた。ここでは、デジタル・アーカイブ教育研究の新しい展開や、デジタル・アーカイブを利用したデジタルデバイスにおける教材開発に関わる課題を議論し、今後のデジタル・アーカイブ教育研究についての方向性を考える。

## ⑨教員研修と教職開発

コーディネータ：山本利一(埼玉大学)，寺本健司(聖徳大学附属小学校)

学校教育の成果は、児童・生徒・学生の教育に直接携わる教員の資質能力に負うところが大きい。教師教育及び教員研修に一貫する教員の資質能力の形成過程には、①教員養成段階、②教員採用段階、③教員研修段階がある。近年の我が国の教師教育・教員研修に関する施策や課題等について、教員養成・教員採用・教員研修の各段階に関わる様々な立場からの教育実践・調査研究により、情報交流及び研究協議を行う。また、教員免許更新講習の研修内容や、各教育センターでの研修内容の情報交換の場としたい。

## (4)一般研究

- ・発表内容は「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。「教育情報」とは、「教育に関する情報」と「情報に関する教育」の内容となります。
- ・想定される発表セッションのキーワードは次の通りです。

- ・応募状況に応じてセッションを設定する予定です。

## キーワード

教育情報管理, 文献資料, 教材, 電子教科書, デジタル・コンテンツ, 教材開発, メタデータ, 情報カテゴリー, シソーラス, デジタル・アーカイブ, 知的財産権, プライバシー, セキュリティ, 個人情報, カリキュラム, 教材研究, 教材開発, 学習評価, 授業分析, 授業評価, 教育システム, 共同学習 (遠隔協働学習), 交流学习, 高大連携, 小中高連携, 生涯学習, 教師教育, 教員研修, 情報教育, 教科教育, 情報処理教育, 情報教育, eラーニング, 教育情報システム, 学習ソフトウェア開発, 学習情報管理システム, SNS, 携帯端末, 校務処理, 校内 LAN, GPS 情報, 災害情報, データベース, 情報検索, インターネット, 遠隔教育, 遠隔教育システム, ネットワーク, プレゼンテーション, 電子黒板, マルチメディア, スレートデバイス, タブレット, デジタルメディア, 国際貢献・協力, 国際理解, 特別支援教育, 高等教育, 専門教育, 技術教育, 初等中等教育, 児童教育, 幼児教育, 情報モラル, メディアリテラシー, アクティブ・ラーニング, 学習環境, ネットワーク環境

## (5) 研究発表申込締切日・申し込み方法等

### ① 申込締切 2012年5月14日(月)

### ② 申込方法

- ・研究発表の申し込みは原則としてメールで下記宛先にお申し込みください。  
研究発表申込書送付アドレス [kinosita@seitoku.ac.jp](mailto:kinosita@seitoku.ac.jp)
- ・申込書は, 第 28 回年会 Web サイト (<http://jsei.jp/nenkai28/>) にある年会研究発表申込書 (課題研究は「課題研究発表申込書」, 一般研究は「一般研究発表申込書」) を, ダウンロードし, 必要事項をご記入の上, 添付ファイルで送信してください。
- ・その他ご不明な点は, 実行委員会事務局にお問い合わせください。

日本教育情報学会 第28回年会実行委員会事務局

聖徳大学 木下研究室内

TEL 047-365-1111 (大学代表) E-mail: [kinosita@seitoku.ac.jp](mailto:kinosita@seitoku.ac.jp)

### ③ 課題研究に関する注意事項

- ・課題研究は前記「課題研究テーマ」から選びそのテーマに沿って研究発表題目をつけてください。
- ・課題研究発表は年会実行委員会で調整し, テーマごとに担当コーディネータが検討し, 審査します。その結果, 発表「否」となる場合もあることをあらかじめご了承ください。なお, 課題研究として発表できない場合には, 一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくこともあります。
- ・第 1 発表者(講演者)として課題研究発表は, 1 人につき 1 件のみとします。ただし, 年会実行委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

### ④ 一般研究に関する注意事項

- ・第 1 発表者(講演者)としての一般研究発表は, 1 人につき 1 件のみとします。
- ・一般研究発表の発表者は, 発表当日の時点で会員である必要があります。非会員の方は, 当日までに学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は学会運営本部事務局 ([nkkg@gijodai.ac.jp](mailto:nkkg@gijodai.ac.jp)) にご請求ください。

## ⑤発表申込書の書き方について

- ・講演者とは、研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ・共同研究者は何人でもかまいません。
- ・概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・キーワードとして前記一般研究発表のキーワードの中から2～5語以内を選んでください。
- ・会場で使用できる機器は、プロジェクタです。パソコンは各自で持参してください。また、あらかじめ持参する機器等がある場合は、申し込み時の大会事務局への連絡欄にその旨を記入してください。
- ・執筆要項などの送付先（メールアドレス等）は、発表者への連絡時期である6月を想定して、自宅または勤務先を記入してください。

## (6)発表者への連絡

- ・発表者には、6月上旬までに発表の可否をメールで連絡します。
- ・発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ・論文の原稿枚数は、一般研究は2枚、課題研究は4枚とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、電子メール（デジタル原稿(PDFファイル)）で年会事務局に提出していただきます。

## (7)参加費について

- |                                      |
|--------------------------------------|
| ・会員事前申込締切日まで                         |
| 参加費 3,000 円 資料代 3,500 円 交流会費 5,000 円 |
| ・会員（当日）・非会員                          |
| 参加費 4,000 円 資料代 3,500 円 交流会費 5,000 円 |
| ・後援関係の教職員                            |
| 参加費 無 料 資料代 3,500 円 交流会費 5,000 円     |

※参加費の振込用紙・参加申込書などは、次号ニューズレターに同封する予定です。

### ●論文集の郵送申し込みについて（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、次号ニューズレターに同封の振込用紙の該当欄にご記入の上、申し込みをしてください。年会終了後に論文集を送付します。

論文集 4,000 円（本体、郵送費等を含む）

### ●後援関係の皆様

新規の方の参加を歓迎します。後援いただいた、教育委員会所属の教職員の参加は無料とします。（資料代の代金は必要です。）

### ●宿泊

宿泊に関しては、各自で手配くださいますよう、お願いします。

## (8)これからの予定

発表申込締切	2012年5月14日（月）
発表決定通知	2012年6月上旬
論文提出締切	2012年7月16日（月）
参加申込締切	2012年8月13日（月）※参加費支払締切

## \*\*\*\*\*公募案内\*\*\*\*\*

大妻女子大学社会情報学部情報デザイン専攻では、以下の専任教員を公募します。

### <専門分野 情報処理>

採用職名 教授もしくは准教授  
募集人員 1名  
勤務形態 常勤(教授・准教授の場合 60歳定年,その後 70歳まで 5年毎の再雇用制度あり.)  
勤務場所 大妻女子大学 多摩校 (東京都多摩市唐木田 2-7-1)  
採用予定日 平成 25 年 4 月 1 日

### <専門分野 認知科学>

採用職名 教授もしくは准教授  
募集人員 1名  
勤務形態 常勤(教授・准教授の場合 60歳定年,その後 70歳まで 5年毎の再雇用制度あり.)  
勤務場所 大妻女子大学 多摩校 (東京都多摩市唐木田 2-7-1)  
採用予定日 平成 25 年 4 月 1 日

詳しくは、以下の URL より公募要項等をご覧ください。

<http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/recruit.html>

## \*\*\*\*\*運営本部事務局よりお願い\*\*\*\*\*

### ☆年会費お支払いについて

2011 年度までの会費のお支払いが、まだお済みでない方は、新年度会費と合わせて手続をお願いいたします。(お支払いいただいた後、振込金受領書は大切に保管してください。)

本学会は会員の皆様からの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

### 学生会員の方へ

学生会員の方は、必ず「学生証」のコピー又は PDF ファイルを郵送もしくは E-mail にて運営本部事務局まで、ご送付ください。

### ☆学会誌「教育情報研究」の投稿について

「教育情報研究」または「ホームページ」に掲載の『投稿要領』をご確認のうえ、『投稿の手続き』および『執筆手順』に従い、『投稿票』を添えて、運営事務局へご投稿下さい。なお、投稿票はホームページ <http://jsei.jp/> からダウンロードできます。

### 日本教育情報学会 運営本部事務局

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内  
Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238 E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp